

対象者数

297人

平成14年4月2日
から
平成15年4月1日
までに生まれた人



令和5年岡垣町二十歳式

輝く未来へ 新たな門出

1月8日に行われた「令和5年岡垣町二十歳式」に出席した220人。二十歳を迎えた皆さんは、未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

問い合わせ 生涯学習課

成人式から二十歳式へ

冬晴れの中、令和5年岡垣町二十歳式を岡垣サンリーアイで開催しました。令和4年4月に民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、町では町公式LINEでアンケートを行い、成人式の名称を「二十歳式（はたちしき）」に変更。成人年齢は18歳ですが、二十歳という年齢が社会的に大きな意味を持つことや、節目の年になるさよ集まることでのつながりを感じて欲しいと考え、二十歳を迎えた皆さんを対象に式典を行いました。

式典では、門司町長や来賓が、出席者の新たな門出を祝福しまし

た。また、岡垣東中学校卒業生の恩師である中尾真己都さんは、昔話「大きなかぶ」になぞらえて「誰かの力を借りることで、一人ではできないことができるようになる。困った時には助けを借りることが大切」と激励の言葉を出席者に贈りました。



20年前のできごと

■主なニュース

- 5月 2002 FIFAワールドカップ開幕（日本は決勝トーナメント進出）
- 8月 多摩川にアゴヒゲアザラシのタマちゃん出現
- 10月 日本人のノーベル賞ダブル受賞
 - ・小柴昌俊さんがノーベル物理学賞を受賞
 - ・田中耕一さんがノーベル化学賞を受賞

- ベストセラーになった本「世界がもし100人の村だったら」（池田香代子）
- ヒット曲 Voyage（浜崎あゆみ）
- ヒット映画 ハリー・ポッターと賢者の石
- 流行語大賞 「タマちゃん」「W杯（中津江村）」



①、②「岡垣ボランティアクラブ」や学生ボランティアの皆さんが当日の受け付けを行った
 ③、④式典中は恩師からの温かいメッセージが流れた
 ⑤～⑬会場に集まった出席者たち。同級生や恩師と久しぶりに再会し、喜びを分かち合った

心に残る式典を

二十歳式実行委員会

式典は毎年、二十歳の対象者による実行委員会が企画と運営を行っています。今年も、町内の中学校の卒業生が実行委員を務めました。

思い出に残る式典にしようと、昨年11月から会議を重ね、さまざまな意見を出し合いながら計画を進め、式典の記念品や名簿パンフレットのデザインなどを決定していきました。また、式典当日は司会・進行をは

じめ、記念品・名簿パンフレットの紹介や国歌斉唱のピアノ伴奏、謝辞など多くの役割を実行委員が担い、式典を無事に成功させることができました。

代表謝辞では、曾宮一晟さんが「今まで支えてくださった多くの方への感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献できるように努力していこうと思います」と述べました。



①



②



③



④



⑤



⑥

▶実行委員会が手掛けた記念品と名簿パンフレット。記念品のマグボトルには、岡垣町の名前と式典の日付が刻まれている

- ① 実行委員会代表の出水さんが「大事な一日にしましょう」と挨拶
- ② 国歌斉唱の伴奏を行う杉谷さん
- ③ 代表謝辞を述べる曾宮さん
- ④ 壇上で紹介を受ける委員の皆さん
- ⑤ 司会を務める内藤さんと廣渡さん
- ⑥ 記念品を受け取った石原さん
- ⑦ 記念品紹介を行う北園さん・目原さん・秋吉さん



⑦





▲二十歳式実行委員の「二十歳の抱負」

後列左から北園夕姫さん「仕事を頑張る 貯金する」、石原真愛さん「立派な保育士になる」、廣渡結衣さん「毎日笑顔」、杉谷美咲さん「素敵な大人になる」、目原凧斗さん「教師になる」、曾宮一晟さん「自炊 & 貯金 & 仕事」、出水蒼真さん「辛さを抱く」、秋吉陽生さん「自然体」、内藤雄也さん「健康」

二十歳の抱負



自分の可能性を信じて



教育長 佐々木敏幸

二十歳、おめでとうございます。これから歩む長い人生、自分の選んだ道を一生懸命進んでください。将来の夢を実現させるためには、失敗を恐れず、努力を惜しまないことが大切です。自分の持つ可能性を信じて、何事も諦めずに、価値あるものとして人生を送ってください。

今後、皆さんは生活や仕事を通じて、多種多様な人と関わっていくこととなります。人は人との関わりの中で育っていくものだと思っています。さまざまな人との出会いや繋がりを大切に、いつも笑顔で元気に過ごせるように願っています。皆さんの新たな一歩を応援しています。

※教育長は、佐々木敏幸さん（1月26日退任）から古賀弘明さん（1月27日就任）に代わりました。

感謝の気持ちを大切に



町長 門司 晋

二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。人生の大きな節目を迎え、責任のある一人の大人として、それぞれの輝かしい未来への一歩を踏み出していくことと思います。

その一方で、自らの人生を自らの手で切り開かなければならず、困難に直面することも少なくありません。そのようなときも、自分の行動や言動に責任を持ち、皆さんの成長を見守ってきた周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、さまざまなことに挑戦し、充実した人生を送ってください。

皆さんの柔軟で斬新な発想や若いエネルギーあふれる行動力を、今後のまちづくりに生かしてもらえることを期待しています。